

知事と区市町村長との意見交換（羽村市）

令和1年9月24日（火）

11時30分～11時50分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 並木市長他、市役所の皆様方、御苦勞様でございます。お越しいただいて感謝でございます。また、都政運営につきまして平素よりの御協力、ありがとうございます。

さらに今、長期ビジョンということで策定中ございまして、市長からは、ぜひ個別に話をさせてほしいという旨、以前からも伺っておりました。ぜひ目の前もさることながら、次、これからの東京の在り方、そして羽村の在り方として御意見を伺えればと、このように思っております。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○羽村市長 よろしくお願いいたします。改めまして、おはようございます。こういう機会を作ってくださいまして、ありがとうございます。

平成28年度に始めて4回目ということでございます。平成29年2月の第1回を、よく覚えておまして、緊張して参加させていただいております。その後、テーマいろいろあったりとか、お会いする形はあれでございますけれど、引き続き今回もこういう機会を作っていたことに対して、心から感謝を申し上げさせていただきたいと存じます。

羽村は小さい所ございまして、将来の論点とかそういうのを見させていただいて、結構、検討はしたんですけども、引き続き小さいまちの最大のテーマについて、まずはお話させていただいて、それが今度論点とか将来の展望の中で、こういう項目が連携できるのではないかと、そんなところを絞らせていただいて御説明をさせていただきたいというふうに思っております。

そういう意味で4年前にもお願いしているテーマで、まだ引き続けている羽村の大きいテーマがあるので、それはやはり市民にとってもなかなか耐え難いところで、ちょっと狭くなるかもしれませんけれどもお聞きいただきたいというふうに存じます。

それでは早速テーマであります、東京都の長期戦略ビジョンや都の施策に関連する市の重要施策、及び都に望むことについて、2点お話をさせていただきたいと存じます。いずれも将来にわたり市が持続的に発展をしていくために取り組むべき、重要な課題であると捉えており、現在施策の推進に努めておるところでございます。

1点目は御承知のとおり、羽村の最重要施策でございます、羽村駅西口土地区画整理事業の推進であります。羽村市はこれまでに都市基盤整備と共に発展してきたまちであり、市街化区域における土地区画整理事業の施行率は65%を超えて、これにより産業が発展し、良好な住環境の下、職住近接のまちづくりを進めてきたところでございます。

一方、市の玄関口でありますJR青梅線羽村駅の西口地区におきましては、狭隘な道路に木造住宅が密集して建ち並び、都市基盤整備が立ち遅れた状況となっており、安全で安心して暮らせる住環境の整備と、駅前を中心とした産業の振興を図り、美しく快適で活力に

満ちた都市としての再編整備を進めるよう、現在施行面積約 42 ヘクタールの土地区画整理事業に取り組んでいるところでございます。

本事業ですけれども、平成 15 年 4 月に知事の事業認可を受け、これまでに関係権利者の皆様に丁寧な説明に努め、御理解と御協力を得ながら取り組んできているところでございます。

本年 5 月には事業の根幹となります事業計画につきまして、東京都と調整や協議をさせていただき、事業期間を 15 年間延伸し、また新たに社会資本整備総合交付金、都市再生区画整理補助の決定をいただき、事業計画の変更を決定したところでございます。

計画区域内には広域幹線道路であります、都市計画道路 3・4・12 号線の未整備区間があり、西多摩地域の南北交通の要となる重要路線として、東京都が進めておられます、羽村大橋拡幅事業と共に多くの方々から早期の整備が期待をされているところでございます。

本件につきましては、未来の東京への論点で示されておられますような強靱な東京をつくるという課題や、多摩の魅力をさらに高める多摩南北道路の整備促進といった課題に資する取組であると考えており、引き続き市の最重要施策として次世代に向けたまちづくりを見据え、国、東京都と共に緊密に連絡を取り、取組を進めていく考えでございます。

次、2 点目でございますけれども、これも前からお話をさせていただいておりますけれども、法人市民税の税収の対策について説明をさせていただきます。

羽村市では 1 点目にお話したとおり、都市基盤整備の下、企業誘致や企業が操業しやすい環境の整備、企業活動への支援に力を入れ、職住近接のまちづくりを進めてきた成果として、現在多くの法人が市内に集積しております。

特に製造業につきましては、最近の平成 30 年工業統計調査において、製造品出荷額等が、区部を含めまして都内第 2 位となっております。人口 5 万 6,000 人のコンパクトな羽村市が、メイドイン東京のものづくりを支えているという、若干の自負心を持っているところでございます。

一方、こうした法人からの税収が歳入全体に占める割合が高く、年度毎に景気や企業の業績の大きな影響を受けやすい点は、財政運営上の大きな課題となっているところでございます。

特に平成 26 年度から法人税率が改正され、また、本年 10 月にはさらなる引下げが予定されており、その影響が次年度にも及ぶ等、市財政は大変厳しい状況に陥っているところでございます。

市では今後とも、健全で安定的な財政基盤を構築するよう、不断の行財政改革を進めると共に、市民と企業と事業者と元気な町であり続けるよう、地域経済の活性化に努めていきたいというふうに思っております。

特に現在市内におきまして、最先端技術を有する新たなグローバル企業の立地が進められておるところでございます。市ではこの機を逃さずに、良好な都市環境の創出と市内経済の活性化を図るため、迅速に対応をしていきたいと考えているところでございます。

こうした取組は未来の東京への論点に示す、世界をリードする東京、生産性を高め強い

経済モデルをつくる、新たな成長産業の戦略的発掘、事業化といった課題にも資するものと考えているところでございます。

また、年度間における収入の変動につきましては、中長期的な視点に基づき、安定的に基金残高の確保に努め、東京都の市町村総合交付金等、特定財源を有効に活用させていただきながら、財政基盤の強化を図って参りたいと考えております。

ぜひこうした点におきまして、東京都の財政的支援や企業立地支援をよろしくお願いを申し上げます。以上、2点に亘り発言をさせていただきました。どうもありがとうございます。

○知事 ありがとうございます。前は防災をテーマに市の事情や御要望を伺ったところでございますが、今回は、まちづくりそのものであり、また今後の特に法人税に比重が多いというところで、経済、景気の状態によって影響を受けやすいというお話であったかと思えます。日野自動車が今度移転を。

○羽村市長 残っていただいておりますけど、日立国際というのがちょっと前ですけど、その後にイオンさんが入っていただくとか。

○知事 なるほど。

○羽村市長 新しいところをお迎えをすると、このイオンさんもまたもう一つ。

○知事 でもある意味で企業からすれば、いろいろな環境的にも整っているが故に。

○羽村市長 はい。

○知事 出もあれば入りもあると。

○羽村市長 そうですね。

○知事 そういふことなのかと受け止めております。

○羽村市長 ものづくりの企業が来てますけども、小さいまちですので、新しい新参の企業というのが面積とかいろいろ規模が違いますので、羽村だけでなかなかこう賄えるというか、そういうところに対する規制とかそういうのがありまして、そこをきちんとやっていかないとなかなかということでございます。

○知事 まず冒頭の西口の土地区画整理事業については、これまでいろいろな経緯があったということでもありますけれども、やはりまちの玄関口でございましょうし、これからの都市の羽村としての発展の基礎になるというふうに認識しております。

御承知のように、この土地区画整理事業でありますけれども、財源の確保、事業実施に關しての技術的な助言ということで、都として都独自の助成制度等で技術的、財政的に支援をして参ったところでございます。

今日の具体的なお話でありますけれども、引き続き支援に努めて参りますし、また、市におかれては権利者の理解をまとめていただいて、この事業とそれから都市計画道路の3・4・12号線がございまして、その着実な事業をお進めいただきますように、それぞれでできることをしっかりお互いに進めていくことによって、この計画を前へ進めさせていただければと思います。

それから法人税に關してでありますけれども、これまでも持続的に職住近接のまちづく

りと、それから市が有しているのは動物園は羽村だけなんですか。旭川はあれは何ですか。

○副知事 市立です。

○羽村市長 市ですけども、元々、羽村町の時代につくったもので、町立でやったのは日本で初めて、そのまま市が引き継いでいると。

○知事 前に園長さんのお話かなんかテレビでやって、とても工夫していらして。

○羽村市長 民間の園長さんを採用した時に元気にやっていただいて。

○知事 やはり、企業の職員の方からすれば、お子さんの環境をよく保つという意味でプラスなんだろうと思います。これからも動物園も頑張っていたきたいと思います。

あと、市内の企業の支援、企業誘致というのを積極的にされて、市税収入の確保に取り組まれておられるわけですが、これまでの歴史的な経緯を見ると、交付団体から不交付団体といろいろ、本当に景気の風にそのままさらされておられるような状況かと思いますが、都としまして多摩地域の持てるポテンシャルを伸ばすことによって、企業誘致等の市の産業振興に向けた取組を支援していきたいと思っております。

それから企業立地に関しての情報提供等も行っておりますので、これからも羽村として一番の稼ぎどころなところを伸ばされるように、お互い連携していきたいと思っております。

総合交付金等を活かしていただいて、企業にとっても環境、企業の環境がよくなるような、また、もちろん市民にとっての環境がよくなるように御努力いただければと思います。

○羽村市長 ありがとうございます。

○知事 何か加えて。

○副知事 羽村市さんは人口は微減ですけども、社会増減は増ということで、やはり先ほど知事からもお話がございましたように、企業誘致の御努力の賜物ではないかと思えます。

そういった意味で従業員の方達が他市から来る方もいらっしゃるでしょうけど、暮らしやすい地域づくりということも必要になると思いますので、子育て支援等、東京都としても、今後共、支援を頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○行政部長 折角ですので、まだお時間ございますので、市長何かあればお願いいたします。

○羽村市長 今仰っていただいたとおりの市の状況でございますけども、やはり景気の動向に左右されるところで、元もと、ものづくりのものを誘致してきましたけども、それだけですと景気に左右されますので、新しい産業等を迎え、先ほど、固有名詞は出しませんでしたけれども、そういう医療関係の大きな、今までとは違った中で非常に御要望と御注文が今までのものづくりだけじゃなくて広げていこうということで、我々5万6,000の中で絶対来ていただきたいと思うんですけど、御要望に応えるだけの、その今せめぎ合いでございます。

そういう意味では従前たる古いものづくりの皆さんもそこにこう目を向けていただいて、一緒にできるオール羽村でできるようなものにしていきたいということになりますと、新

しい産業ですと規制があったりとか、そういうところについて、お願いすることとかいっぱい出てくると思うんですね。そこはぜひお願いをしたい。

それから3・4・12号線は多分この後、あきる野市とか、瑞穂町とか、八王子市と関係してモノレールの構想路線にもなったりしている道でございますので、そういう意味で南北の中で羽村市は区画整理事業の区域内にその道路がありますので、早くやれという強いプレッシャーが掛かっておりますけど、頑張っていきたい、これをやっていきたいというふうに思っております。以上です。

○知事 ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。あと、それぞれの企業も国際競争にさらされている、特に先ほどの日野自動車さん等も、内燃のエンジンから電気自動車から水素から、産業革命が同時に来ているような状況かと思えます。

そういう中でやはり産業活動をより円滑に進めるように、例えば今この5Gという、今大体4Gで皆さんデータを入手しておられると思いますが、次世代の5Gという環境を整えることが国際社会での競争に、特にものづくり等も含めて死活的な問題になってくるというふうに思います。

また、都でソサエティ5.0ということで、様々な事務的な手続き等もより、政府もeガバメントを進めておられますけれども、そこはよりIoT、ICT、これらの技術を円滑に使うことによって、職員の皆さんも働き方のプラスになったり、そういうところの分野っていうのは新しい技術でございますので、多分市役所の中でもなかなかそちら方面に長けている人を必ず確保することが、難しい場合も多いかと思うんですね。

ですから、このあたりについては技術の勉強会であるとか、どのように進めていったら一番連携が取れるのか、またいろいろと連携させていただければと思っております。

都、市も可能なのかな、いわゆるローカル5Gというのを取得する、電波を取得するという意味で、都立施設と同じですよ、市立としては、ローカルですね。これらについてもまた御相談させていただいて有効、効率的に使えるようにしていければと思っておりますので、また別途これは御相談させていただきます。

○羽村市長 そういう意味では西多摩地域と、今ゾーニングでは羽村もそうですけど、結構ものづくりについての先進的なところで、我々も経産省に人が行ったりしてやっておりますので、西多摩ゾーニングの観光とか景色など、自然がありますけれども、そういう企業とか先端技術について受け入れるところについても御指導いただければ、我々の方にもあると思うんですね。

それで多摩地域は地盤が固いとか、その精密機械とか、そういう時のいい環境状況があって、羽村もものづくりの人をお呼びしてたわけですけども、羽村だけじゃなくて青梅線の沿線、青梅線クラスターとかいう形で前からそういう最新の技術でやろうという風土がありましたので、そのところでゾーニングをして西多摩の所のよさを生かすということは、また今回の中にも入っているとは思いますが、その辺のところも御協議させていただいて、西多摩全体がレベルアップできるような、そういうような長期の計画の中で御相談させていただければありがたいというふうに思っています。

○行政部長 では、そろそろお時間になりますので、最後に知事の方から一言お願い申し上げます。

○知事 今日は御足労お掛けいたしました。長期戦略ビジョンにつきましては、こうやって皆様方からいろいろ御意見を伺い、そして年末にはそれをビジョンの形で策定をする、そういう流れにいたしております。また、その後肉付けを経まして、長期戦略としてまとめていくという段取りにいたしております。

これからも引き続き、様々御意見等伺わせていただきますので、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

東京都にとりましても、これからオリンピック・パラリンピック、もちろん今あれですね、ワールドカップで賑やかにやっておりますけれども、その後の超高齢化の加速等々を考えると、この時期への仕込みは非常に重要なものになるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○行政部長 本日は御多用のところ、ありがとうございました。これで意見交換を終わらせていただきます。